

A decorative background consisting of numerous thin, light gray lines that curve from the top left towards the bottom right, creating a sense of motion and depth.

取扱説明書

ソーラーワイヤレス バックモニター

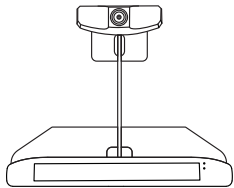
この度は、ソーラーワイヤレスバックモニターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。駐車が簡単、安全にできるようこの製品はサポートします。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、説明の通りに正しくお使いください。

このガイドについてユーザーガイドの正確性には万全を期していますが、内容に一切の誤りがないという保証はありません。また、製品の改良などにより、仕様などの内容が若干異なる場合があります。

目次

1. 構成部品	1	4.2 モニターの操作.....	9
2. 取り付け前の準備	2	4.3 ガイドラインサイズを選択.....	10
2.1 充電.....	2	5. 電池残量の表示	10
2.2 製品のテスト.....	3	6. リモコンのバッテリーの交換	11
3. 取り付け	4	7. お手入れとメンテナンス	12
3.1 バックカメラの取り付け.....	4	8. 故障かなと思ったら	12
3.2 カメラ角度の調整.....	5	9. 仕様	17
3.3 モニターの取り付け.....	6	10. 保証書	18
3.4 リモコンの取り付け.....	8		
4. 基本操作	8		
4.1 カメラの起動.....	8		

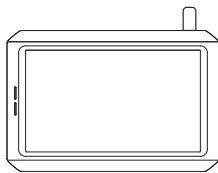
1/ 構成部分



バックカメラ構成部分



リモコン



5インチモニター



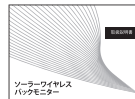
モニター吸盤



シガーチャージャー(3.5M)



充電ケーブル(1.5M)



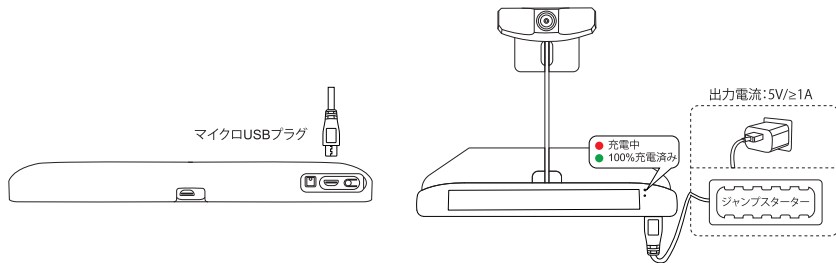
取扱説明書

2/ 取り付け前の準備

2.1 ソーラーバッテリーの充電

車に製品を取り付け前に、USBポート付ける充電器でバッテリーを充電します。

1. 付属品のUSB充電ケーブルをソーラーユニットのUSBポートに接続します。
2. USB充電ケーブルを出力が1000mAまたは1000mA以上のUSBチャージャーに差し込みます。
3. 充電時間は3-4時間を続けます。



通常使用の場合、バックカメラへ電源を提供するソーラーユニットは陽光にさらすことで充電されます。バックカメラは動作しているとき、モニターに電量パイロットランプが表示されます。車は1ヶ月以上車庫に駐車した場合、またはバックカメラが十分陽光にさらすことができない場合は、USBポートを利用して外部から充電する必要があります。

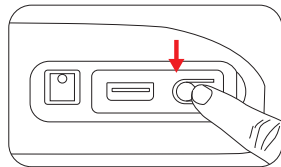
注意:

1. 車は2ヶ月以上駐車する場合は、バッテリー上がりを発生しないように、バッテリースイッチをオフにしてください。
2. モバイルバッテリーまたはジャンプスターターで充電する場合は、バッテリーの容量が4000mA以上をご確認ください。

2.2 システムのテスト

全ての付属品が正常に動作できることをご確認ください。製品を取り付ける前に、各部分をテストしてください。

1. モニターへ電源つなげて、モニター側にあるパイロットライトが点灯します。それはモニターがオンの状態で、待機状態に入ることを表示します。
2. バックカメラのソーラーバッテリーのスイッチをオンにします。その場合パイロットランプは一度点滅してから、5秒ぐらい点灯する状態を続けます。その後、パイロットランプが消灯します。それはバックカメラがオンになって、待機状態に入ることを表示します。
3. リモコンを一回押すことでモニターのパイロットランプは2回点滅して、画像がモニターに表示されます。画像が表示できない場合は、「故障かなと思ったら」内容をご参考ください。



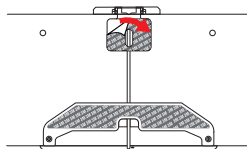
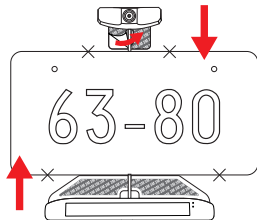
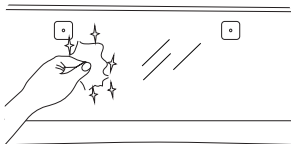
注意:

デフォルト設定の場合、60秒後モニターは画像表示が停止して、待機モードに入ります。

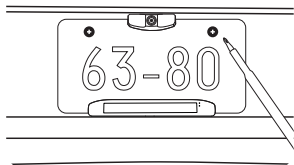
3/ 取り付け

3.1 バックカメラの取り付け

1. ナンバープレートを取り外し、ナンバープレートを取り付ける箇所を布巾で綺麗に拭きます。
- 2.1. ナンバープレートにバックカメラとソーラー電池の取り付け場所をマークします。
2.2. ソーラー電池のブラケットにある3Mテープとバックカメラ正面にある3Mテープを外します。
2.3. ブラケットとバックカメラをナンバープレートに貼り付けます。
3. ブラケットとバックカメラの裏面にある3Mテープを外して。



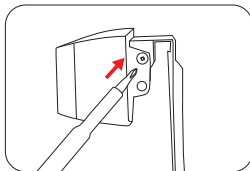
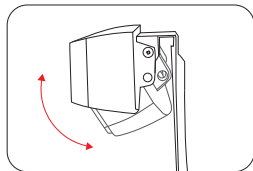
4. バックカメラユニットが装着済みのナンバープレート車をに貼り付けます。



3.2 バックカメラの角度の調整

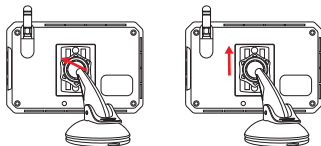
適切な角度を調整します。

- バックカメラを適切な角度に傾けます。
- 運転中振動によるカメラの角度のズレを防ぐため、2本のネジを慎重に締めてください。



3.3 モニターの取り付け

1. スタンドをモニター後ろの挿入口に差し込みます。下記の図のように挿入口の固定方向に押し込んでください。



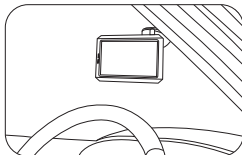
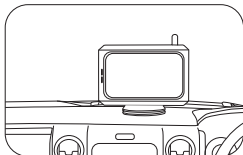
注意: これらは参考図ですので、実際の構造を確認して取り付けを行ってください。

また、無理に押し込むなどによる破損によって生じる損害について、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

2. スタンドの吸盤に貼付してある保護用の透明フィルムを剥がしてください。



3. 吸盤でフロントガラスまたはダッシュボードに貼り付けてください。



- ・ノブを締め、本機が所定の位置で固定されていることを確認します。・ノブを緩め、本機の位置を調整します(360度回転可能)
- ・モニタースタンドはジェル吸盤式のスタンドですので、強力な吸着力があります。吸引力が低下した場合は水洗いだけで再利用が可能です。
- ・スタンドを移動する場合は、表示されている図のようにレバーを上引くと、フロントガラスまたはダッシュボードからスタンドを外すことができます。また、下に押しすとモニターをフロントガラスまたはダッシュボードに固定することができます。

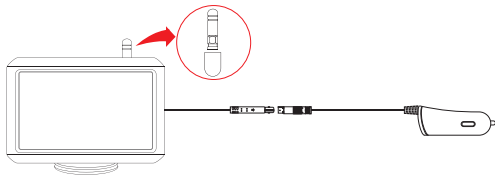


注意: モニターをフロントガラスに設置した場合、運転や視界の妨げとなる場合があります

ます。視界の妨げになる位置へ設置しないでください。吸盤接着面が汚れていたり日光等で熱くなると吸盤が外れやすくなります。

下記の図のように、配線をシガーチャージャー配線と接続し、シガーチャージャーを車のシガーソケットに差し込むことで電源が供給されます。

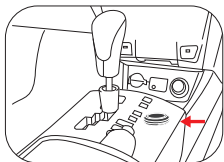
アンテナの配線とモニターを接続します。



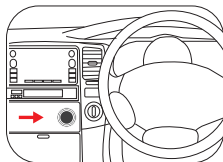
3.4 リモコンの取り付け

リモコンはバックカメラを起動する際に使用する付属品です。

リモコンの裏側の3Mテープを剥がして、リモコンを適切なところに取り付けます。



コンソールに取り付け

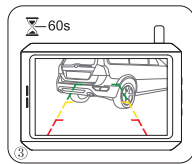
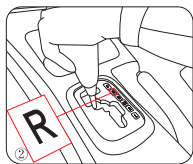
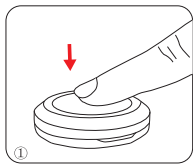


ダッシュボードに取り付け

4 / 基本操作

4.1 カメラの起動

初めて使用する前に、ソーラーバッテリーはフル充電の状態をご確認ください。充電についての情報を「取り付け前の準備」の「バッテリーの充電」の内容をご確認ください。



バックギアに入れる前に、リモコンを一度押してください。その場合、後方の画面が自動的にモニターに表示されます。デフォルト設定では画面表示が60秒を維持しますが、60秒でバック駐車が完成できない場合は、再度リモコンを押すことで画面の表示時間が伸びます。

ヒント: モニター側の任意ボタンを押すことでバックカメラを起動することもできます。

4.2 モニターの操作

モニターに電源を入れる場合、パイロットライトは常に赤点灯しています。それは、モニターがオンにして、待機の状態に入っていることを表示します。

M: メニュー/復帰/確認

▲: フォワード/拡大

▼: バック/縮小

- Mボタンを押すことで設定メニューに入ります。操作がない場合は、メニューは3-5秒以内に自動的に現設定を保存して、オフにします。
- ▲と▼のボタンを使用して、拡大と縮小を操作できます。また、下記のメニューアイテムを切り替えることもできます。

Pair: 新しいバックカメラの登録

B/C Control: モニターの明るさとコントラストの調整

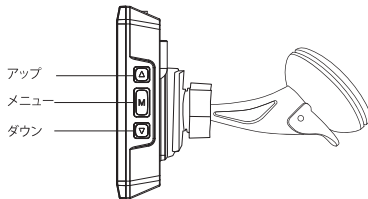
Mirror/Normal: 鏡像と正像の切り替え

Reversing Time: 希望するバック駐車時間の設定

Guide Line: ガイドラインの表示/非表示

Reset: 設定の初期化

ヒント: 通常では本製品は工場出荷時、すでにバックカメラとペアリング済みの状態です。バックカメラを交換する場合のみで、「Pair」ボタンを利用する必要があります。詳しい情報は、「故障かなと思ったら」内容をご参考ください。




4.3 ガイドラインのサイズの選択

1. ガイドラインが点滅する状態で表示できるようMボタンを4秒ぐらい長押しします。
2. ▲ボタンと▼ボタンを押して、6つのガイドラインから一つを選択します。
3. 約3秒後、ガイドラインは点滅停止して、現設定が保存されます。

5 / 電池残量の表示

電池残量の表示アイコンはモニターの右上に設置されています。

下記の図のように電池残量のアイコンにより電池の消耗状況及び太陽光にさらさない状況で残りの使用時間を表示します。陽光のある環境でソーラーバッテリーがフル充電された場合、製品に数ヶ月給電することができます(毎日4-6回を使用することが前提にします)。

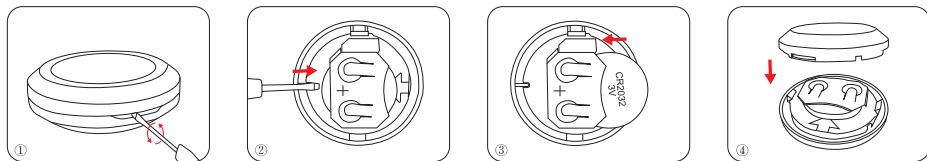
バッテリーの消耗状況	おおよその電池残量	推定使用時間	その他
	≈ 100%	≈ 60日	---
	≈ 70%	≈ 45日	---
	≈ 40%	≈ 24日	---
	≤ 20%	≈ 12日	充電必要

注意:

低温で内蔵電池の性能が低下することがあります。そのため、低温の環境で本製品を使用する場合は、内蔵電池の推定使用期間が短縮になる可能性があります。本製品は-20°Cの低温環境で動作できます。

6 / リモコンバッテリーの交換

リモコンはCR2032ボタン型リチウム電池を使用して、使用期間は1年前後と予測されます。



1. リモコンのシェルを開けて、小型のマイナスドライバーを使用して、ブレードをスロットに差し込みます。
2. ドライバーを回して、完全にシェルを外します。
3. バッテリーをブラケットからスライドして取り外します。
4. 新しいボタン型の電池をリモコンに差込みます。("+")というマークがある表面を上向きにしてください。
5. リモコンを組み立て直します。

7/ お手入れとメンテナンス

カメラの清掃や拭き取りに溶剤や化学薬品を使用しないでください。必要する場合は中性洗剤に浸した柔らかい布で汚れを取り除きます。

処理

このシステムは何年にもわたるサービスを提供するように設計されており、地元のリサイクルセンターでリサイクルまたは安全に廃棄する必要があります。

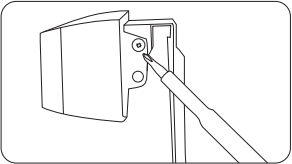
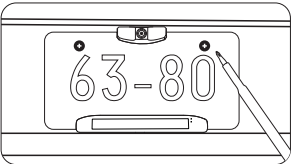
8/ 故障かなと思ったら

エラー/故障	原因	解決方法
リモコンを押してから数秒後、モニターに画像が表示されません。	モニターは待機の状態ではありません。	モニターは通電できることをご確認ください。モニターは通電している時、パイロットライトが点灯している場合は、待機状態に入ること表示します。

エラー/故障	原因	解決方法
<p>リモコンを押してから数秒後、モニターに画像が表示されません。</p>	<p>モニターとリモコンの信号が中断されます。</p>	<p>リモコンを押してから、モニターのパイロットライトは点滅がなく（一般的には2回で点滅します）、モニターの任意ボタンを押すと、画像がモニターに表示されます。この場合は、リモコンとモニターの信号が中断する可能性があります。下記の方法を試してください。</p> <p>リモコンのバッテリーを交換します。 電力不足で、問題を起こす場合は、新しいバッテリーを交換すれば、問題を解決できます。</p> <p>再びリモコンとモニターの信号を接続します。 バッテリーを交換して、問題を解決できない場合は、下記の手順でリモコンとモニターの信号を接続してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. モニターは通電してから、▼を3秒ぐらい長押しして、ペアリングします。 2. ▲または▼ボタンを押して、ペアリングチャンネルを選択して（C1またはC2）、その後Mボタンを押すことでペアリングチャンネルを確認します。その場合、アイコンが点滅します。

エラー/故障	原因	解決方法
	<p>モニターとリモコンの信号が中断されます。</p>	<p>3. リモコンを押してから、スクリーンの“NO”は“YES”に転換すれば、ペアリング成功と表示します。 4. そのまま3秒後、本製品は自動的にペアリング画面が終了して、ペアリングが完了になります。</p>
<p>リモコンを押してから数秒後、モニターに画像が表示されません。</p>	<p>モニターとバックカメラの信号が中断されます。</p>	<p>リモコンを押してからパイロットランプは2回点滅しますが、画像がモニターに表示されません。モニターの任意のボタンを押しても、画面が表示できません。この状況を起こす原因はモニターとバックカメラの信号が中断するからです。下記の方法を試してください。</p> <p>バックカメラユニットをオンにします バックカメラユニットはオフの状態になった可能性があります。オンのボタンを押してください。パイロットライトは1回で点滅すれば、バックカメラはオンの状態になることを表示します。</p> <p>ソーラーバッテリーを充電します。 バックカメラは電力不足の可能性があります、充電してください。</p>

エラー/故障	原因	解決方法
<p>リモコンを押してから数秒後、モニターに画像が表示されません。</p>	<p>モニターとバックカメラの信号が中断されます。</p>	<p>モニターとカメラの信号輸送を作成します。 以下の手順でモニターとカメラをペアリングしてみてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. モニターに電源を入れ、Mボタンを押してメニューに入ります。 2. 「Pair」を選び、Mボタンを押して確定します。モニターはペアリング中で、モニターのパイロットライトが点滅します。 3. ソーラーバッテリーのスイッチを5秒間押します。パイロットライトが点滅になりましたら、バックカメラがモニターとペアリング中と表示します。 4. モニターのパイロットライトが消灯し、モニターに画像表示されます（ペアリングは完了）。
	<p>ほかの原因</p>	<p>モニターを取り付ける時、信号が弱まる場合があります。その場合はモニターを別の場所に取り付けてください。</p>

エラー/故障	原因	解決方法
<p>車両が動いているときに 画像が揺れます。</p>	<p>カメラの角度を固定している ネジが緩んでいます。</p>	<p>カメラの角度を固定しているネジを確認し、必要する場合はネジを締めます。</p> 
	<p>カメラと車両を接続している ネジが緩んでいます。</p>	<p>カメラを車両に固定するネジを確認し、必要する場合はネジを締めます。</p> 

9 / 仕様

バックカメラ			
動作電流 (送信時)		<420mA	
解像度	480 x 272	画角	110° (対角線)
レンズセンサーサイズ	1/3インチ	最低照度	0.1Lux
画質	最大25 fps	防水	IP68
RF伝送距離		230 ft. (70 m)	
動作温度範囲		-4° to 149°F (-20° to 65°C)	
保存温度範囲		-4° to 149°F (-20° to 65°C)	
モニター			
液晶サイズ		5 インチ	
動作電流	<250mA	動作電圧	DC12V
待機電流	90mA	解像度	480 x 272
動作温度範囲		-4° to 149°F (-20° to 65°C)	
保存温度範囲		-4° to 149°F (-20° to 65°C)	

保証書

保証期間内に取扱説明書に従い正しいご使用で故障した場合の保証を致します。お買い上げの販売店へ本書をご記入の上ご相談ください。

品名 型式	バックモニター	ご購入日	年 月 日
お客様	お名前 ご住所: 〒 電話番号 ()		
ご注文番号		販売店	店名:

上記欄に記入のない場合は、無効となりますので必ずご確認ください。

故障内容記入欄

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書などの注意書に従って正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - ・ 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
 - ・ お買い上げ後の移動、落下などによる故障および損傷
 - ・ 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障および損傷
 - ・ 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
 - ・ 故障の原因が本製品以外にある場合
 - ・ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、ご注文番号の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - ・ 同梱品や消耗品などの消耗による交換

